

平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その1)

施策体系コード		2-3-2			事業名	企業連携構築事業	
担 当		経済局産業振興部新産業担当課新産業担当係 藤原 Tel 211-2379					
全 体 計 画							
事業内容	国の「バイオテクノロジー戦略大綱」で関東・関西と並んでクラスター形成地域として位置づけられ、札幌市においても大きな成長が期待されるバイオ関連産業等において、関東・関西地域とのビジネスマッチングを継続開催することで双方の地域の企業にとって、Win-winの関係を構築する。本事業は経済産業省のベストプラクティス(BestPractice:成功事例)にも挙げられ、各地方経済産業局から連携依頼があることから、本市の企業にとってのメリットを十分検証したうえで、関東・関西地域と他の地域も加えたビジネスマッチングを開催する。				<年度別の事業内容>		
					○平成19年度 横浜(川崎)・神戸・大阪において商談会を実施。大阪においては四国とも連携をとり事業を実施した。 ○平成20年度 関東・関西などにおいて商談会を開催することに加え、札幌においても全国のバイオ関連企業を集めた商談会を開催する。 ○平成21年度・平成22年度 全国のバイオ関連企業を集めた商談会を引き続き開催するとともに、関東・関西などにおける商談会も開催する。		
事業内容・量・場所・規模・件数等	平成19年度事業内容(決算)				平成20年度事業内容(決算)		
	平成18年度までの神戸・大阪における商談会に加えて、平成19年7月横浜において、首都圏初のビジネスマッチングを横浜市・川崎市・関東経済産業局・神奈川県等の協力を得て開催した。また、平成20年1月神戸・大阪において開催したビジネスマッチングでは、大阪において初めて四国経済産業局と連携し事業を開催した。3地域を合わせた来場者数は500名を超えた。 ●札幌IT&BIOビジネスマッチングwith横浜／川崎 開催日時:平成19年7月24日 参加企業数:13社 ●札幌BIOビジネスマッチングin神戸 開催日時:平成20年1月30日 参加企業数:10社 ●札幌&四国BIOビジネスマッチングin大阪 開催日時:平成20年1月31日 参加企業数:15社				神戸・大阪において、医療・医薬分野に特化した個別ビジネスマッチングを開催するとともに、札幌において機能性食品・化粧品分野に特化した全国規模のビジネスマッチング事業を開催した。3地域を合わせた来場者数は600名を超えた。 ●全国バイオビジネスマッチングin札幌2008開催 開催日時:平成20年9月8日～9日(2日間) 参加企業数:87社 ●国際BIOビジネス商談会in神戸 開催日時:平成21年2月12日 参加企業数:30社 ●札幌BIOビジネスマッチングin大阪 開催日時:平成21年2月13日 参加企業数:18社		
	平成21年度事業内容(決算)				平成22年度事業内容(予算)		
	関西において、医療・医薬分野に特化した個別ビジネスマッチングを開催するとともに、札幌において機能性食品・化粧品分野に特化した全国規模のビジネスマッチング事業を開催した。2地域を合わせた来場者数は500名を超えた。 ●機能性食品・化粧品ビジネスマッチングin札幌2009開催 開催日時:平成21年9月7日 参加企業数:76社 ●BIOビジネスマッチングin関西 開催日時:平成22年3月2日 参加企業数:17社				札幌における機能性食品・化粧品分野に特化したビジネスマッチング事業を引き続き開催するとともに、関東・関西地域におけるビジネスマッチング事業も引き続き参加していく(関東・関西地域における開催場所・内容等は未定)。 ●機能性食品・化粧品ビジネスマッチングin札幌2010 開催日時:平成22年9月9日 参加予定企業数:70社		

平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その2)

施策体系コード	2-3-2			事業名	企業連携構築事業		
達成目標の状況							
項 目	18年度末 (現 状)	19年度末 (実 績)	20年度末 (実 績)	21年度末 (実 績)	22年度末 (予 定)	22年度末 (目 標)	
ビジネスマッチング来場者数	427名	513名	699名	561名	800名	800名	
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
■市民との連携、市民参加 参加企業・関係機関に対して、事業終了後アンケート調査を実施し、その結果に基づいて、毎年改善を行っている。 ■企業等との連携・協働 [資金協力]道内関係団体・開催地関係機関より、多くの資金協力を得ながら事業を実施している。 [人材協力]事前・事後・開催中すべての期間、道内関係団体・開催地関係機関より、人的協力を得て事業を実施している。 [情報協力]道内関係機関・開催地関係機関より企業ニーズなどについての情報交換を行っている。 [その他の協力]商談相手への呼びかけなどについて開催地の全面的な協力をうけている ■市民・企業等が参加しやすい環境づくり 関係機関のネットワークを活用し、チラシ・ホームページ等で広く情報提供を図り事業を実施している。							
評 価 (成 果)				課 題			
今後、成長が期待できる本市のバイオ関連産業のうち、医療・医薬分野と機能性食品・化粧品分野は、販売先・連携先・手法が異なっているものも多いが、それぞれの特質に合わせたビジネスマッチングを開催したことにより、精度の高い商談の場を設定することができた。				昨年度の実績を踏まえ、さらに商談成立の精度を上げるため、市内バイオ関連企業のさらなる掘り起こし、道外の連携先企業の掘り起こしをしていく必要がある。また、バイオ分野においては、そのニーズやトレンドなどの内部・外部環境が刻々と変化しており、開催場所・手法など柔軟に変えながら事業展開をしていく必要がある。			
今 後 の 事 業 の 予 定 ・ 方 向							
昨年度の実績を踏まえ、さらに商談成立の精度を上げるため、市内バイオ関連企業のさらなる掘り起こし、道外の連携先企業の掘り起こしをしていくとともに、企業ニーズに沿った形で開催場所・手法などを柔軟に変えながら事業展開をしていく。							

《全体》

「19年度」

平成20年度に開催する札幌での商談会に向けた調査等のため予算額を上回る支出となった。

[20年度]

平成19年度開催地域に加え札幌において全国規模の事業を開催することに伴い予算が増加。

[21年度]

平成20年度に引き続き札幌におけるビジネスマッチングを開催することに伴い予算が増加。関係機関と連携することで、効果的な予算執行が可能であったため実績が減額。

[22年度]

首都圏における展示・商談会出展費用の移管に伴い、予算が増加。